

第25号議案

「平和を願う文京戦争展」の後援名義使用承認について（継続審議）

上記の議案を提出する。

令和元年7月11日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 加藤 裕一

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

文京区教育委員会 殿

2019年 5月31日

申請者 (申請団体) 日中友好協会文京支部

住所 (所在地) 文京区本駒込 5-15-12

代表者名 (ふりがな) ニ だけ ひろ 子
小竹 敏子

代表者連絡先 (事務担当者) 03-3828-2949

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・後援名義を使用したく、申請します。

記

(日中戦争)

事業名		平和を願う文京戦争展—村瀬守保写真展(文京区真砂町生保の兵士が撮った)
実施期間		2019年 8月8日(木) から 年 8月10日(土) まで(3日間)
実施場所		文京ビッグセンター アートサロン
事業内容	目的※	保護者を含めて戦争を知らない世代が、区民の圧倒的多数を占めています。従って子ども達に1931年から1945年まで続いた日中戦争、太平洋戦争について語り伝えることも、困難になっています。文京区生まれの兵士村瀬守保氏が撮った日中戦争の写真を展示し、合わせて文京空襲の写真を展示し、戦争について考えてもらう機会にしたい。
	内容	村瀬守保氏の戦場写真、東京空襲の文京版写真、証言・DVD上映 空襲体験、語り部の話
	対象者	区内小中学校の児童・生徒・教員・保護者、高校生、参加予定人員()人 学生・区民他
	参加費	無料
他団体の共催、後援等(申請中、承認済の別)		日中友好協会中央ブロック、文京区若民他労働組合、新婦人文京支部、東京保健生徒、文京区学生会連絡会 他団体・個人に依頼している
備考		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <input checked="" type="checkbox"/> 同意する ・ <input type="checkbox"/> 同意しない		

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

「平和を願う文京戦争展」 実施要綱

1、事業の目的

展示する写真 50 枚は、文京区真砂町生まれの村瀬守保氏がとったものです。村瀬氏は戦場写真家ではなく、1937 年(昭和 12 年)輜重兵として召集され、中国大陸を 2 年半に渡って転戦、愛用のカメラを持ち、自分の所属する中隊全員の写真を撮ることで、非公式の写真班として認められ、3,000 枚の戦場写真を撮影した人です。

村瀬氏の写真が広く国民に注目されたきっかけは、2012 年村瀬氏の遺族が、遺品の写真約 1,000 枚分の保存と活用を、日中友好協会に依頼したことから始まります。

日中友好協会は日本兵たちの「人間的な日常」とこの兵士達が犯した南京虐殺、「慰安所」日常的な加害行為などを、克明に記録した写真を通して、村瀬氏が伝えようとした「戦場の狂気が人間を野獣に変えてしまう」というメッセージを重んじて 50 枚の写真展示パネルに、作製しました。

この 50 枚の写真展示パネルを展示し、戦争の日常と異常、高揚と陰鬱の対比が写し出されているのを見て、多くの人に「戦争とは」を考えてもらうこと、話し合ってもらうことを目的にしています。

又、日本が中国を侵略し戦火を広げ、更にアジア・太平洋戦争に拡大した結果、東京大空襲・沖縄の地上戦や広島・長崎の原爆被害へと拡大し、2,000 万人に及ぶ中国・アジアの人達の犠牲、310 万人の日本人の犠牲を生みました。

その中で文京区内の空襲の実相も明らかにして、戦争が罪のない多くの犠牲を生むものであること、歴史の中から学び考え合う機会にしたいと考えます。

2、事業の計画

村瀬氏の写真・文京の空襲の写真の展示

証言 DVD の上映

空襲体験談 語りべの話

事業予算書

事業名 平和を願う文京戦争展

団体名 日中友好協会文京支部

収 入 単位：円		支 出 単位：円	
賛同者団体・個人 の寄付	100,000.-	会場費	39,400.-
		パネル借用料	10,000.-
		送料	
		DVD(証言)	6,480.-
		プロジェクト借用料	1,000.-
		宣伝費 チラシ等	33,000.-
		予備費	10,120.-
計	100,000.-	計	100,000.-

2019年 5月31日

(備 考)

日中友好協会 文京支部

会則

平成24年4月16日制定

(名称・事務所・連絡先)

第1条 本会は「日本中国友好協会文京支部」と称し、事務所を文京区本郷2-18-8-401 事務局長植上一夫宅(TEL03-3818-7258)に置く。

(目的)

第2条 文京区民と中国国民の友好関係の拡大に努め、必要な友好事業を行うことにより、文京区の国際交流活動の啓発に寄与することを目的とする。

(活動内容)

第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- ① 日本と中国の文化交流と友好拡大に関すること。
- ② 両国の歴史・文化・芸術など学習を強め、交流促進に関すること。
- ③ 在日中国人留学生との交流連携に関すること。
- ④ その他目的の遂行に関すること。

(会員の資格)

第4条 2条の目的に賛同する者

(役員)

第5条 本会の役員は次の通りとする
支部長1名、事務局長1名、会計1名、会計監査1名

(役員を選出方法)

第6条 役員は総会において選挙で選出する。

(役員任期)

第7条 役員任期は1年とする。ただし再任は妨げない。

(総会・役員会)

第8条 1. 本支部の会議は総会と役員会とする
2. 総会は支部の最高決議機関を年1回開催し、会員の過半数の出席で成立、出席者の過半数の賛成で決定する。①事業計画、②予算決算、③規約改正、④その他必要事項
3. 役員会は月1回開催する。

(経費)

第9条 本会の経費は会費、その他の収入によって賄う。

(会計年度)

第10条 本年後の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(会則の発効)

第11条 本会則は2012年4月16日より発効する。

会 員 名 簿

団体名

	役職	氏名	住所（在勤・在学者は下段に名称と所在地を記入）	電話番号
1	支部長	小竹 弘子	文京区本駒込 5-15-12	3828-2949
2	事務局長	植上 一夫	文京区本郷 2-18-8-401	3818-7258
3	会計	高畑 久子	文京区本駒込 5-6-6	3827-0344
4	会計監査	古田 泰人	文京区西片 2-12-23	3818-7721
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※用紙が足りない場合はコピーをしてください。

【注意】

- ・実際に活動している全ての会員についてご記入ください。
- ・活動していない人の名前を記載すること、区外会員の記載を省略すること等の不正が認められた場合、登録を取り消すことがあります。
- ・在勤、在学者については住所欄の下段に勤務先や学校の名称と所在地をご記入ください。
- ・必要事項が全て記載されていれば、既存の名簿をご提出していただいても結構です。

事業実績一覧

- 1、 村瀬守保写真展
 - ・ 日中友好協会文京支部として行う写真展は初めてです
 - ・ 日中友好協会及び日中友好協会都連が共催で、2015年に村瀬守保写真展を行いました。5月8日～10日中野ゼロホール展示ギャラリーで行われました
 - ・ 全国ではそれぞれの所で写真展が行われています
 - ・ 村瀬氏の写真展として都内で行うのは、2015年以来です
- 2、 日中友好協会文京支部の文化行事
 - ・ 声を出して漢詩を読む会 (2回開催)
 - ・ 切り絵を学ぶ会 (干支の切り絵教室)
 - ・ 講演会、学習会

平和を願う 文京・戦争展

文京・真砂生まれの 村瀬守保写真展



一人一人の兵士を見ると、
みんな普通の人間であり、
家庭では良きパパであり、
良き夫であるのです。
戦場の狂気が人間を野獣に
かえてしまうのです。
このような戦争を再び
許してはなりません。

村瀬守保

日本兵が撮った日中戦争

○ DVD上映

証言1 侵略戦争

証言2 中国人強制連行

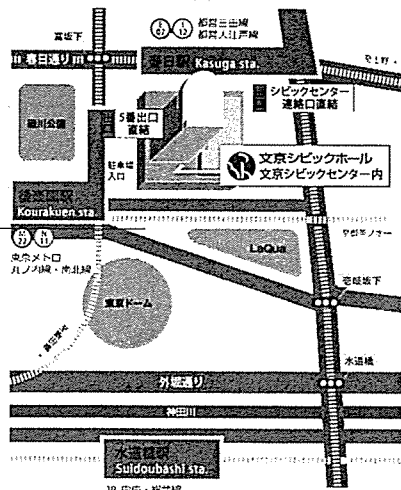
○ 東京大空襲（文京）

における空襲

小林 暢夫さん

とき 8月8日(木)
13:00~18:00
8月9日(金)
10:00~20:00
8月10日(土)
10:00~16:00

ところ 文京シビック
アートサロン
(展示室2)



○交通
東京メトロ後楽園駅・丸ノ内線(4a:5番 出口)南北線(5番 出口)徒歩1分
都営地下鉄春日駅三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分
JR総武線水道橋駅(東口)徒歩9分

主催 日中友好協会文京支部

住所 TEL

共催

後援 文京区教育委員会

2年半にわたり中国各地で撮影し、 家族に送られた日本兵の日常

村瀬守保さん

(1909年～1988年)は1937年(昭和12年)7月に召集され、中国大陸を2年半にわたって転戦。カメラ2台を持ち、中隊全員の写真を撮ることで非公式の写真班として認められ、約3千枚の写真を撮影しました。

天津、北京、上海、南京、徐州、漢口、山西省、ハルビンと、中国各地を第一線部隊の後を追って転戦した村瀬さんの写真は、日本兵の人間的な日常を克明に記録しており、戦争の実相をリアルに伝える他に例を見ない貴重な写真となっています。一方では、南京虐殺、「慰安所」など、けっして否定することのできない侵略の事実が映し出されています。



主な年表と村瀬守保さん略歴

- 1909年(明治42年)12月 文京区真砂町に生まれる
- 1927年(昭和2年)7月 私立豊山中学校諭旨退学
以後 人夫、新聞配達員、商店員、テキヤ、
船乗り、トラック運転手、タクシー運転手
- 1931年(昭和6年)9月 柳条湖事件(満州事変)
- 1932年(昭和7年)1月 第1次上海事変
- 1937年(昭和12年)7月 盧溝橋事件
召集 輜重兵 補充兵 二等兵
- 同年8月 第2次上海事変
- 同年12月 南京事件
- 1939年(昭和14年)8月 ノモンハン事件
- 1940年(昭和15年)1月 召集解除
- 同年3月 会社員(株)三田鉄工所 工場長、社長
- 1945年(昭和20年)8月 敗戦
(株)三田発動機、(株)共パン、アルプスミン(株)、
アルプス産業(株)社長
- その後
埼玉設備工業(株) 社長
全国商工団体連合会 常任理事
埼玉県商工団体連合会 副会長など歴任
- 1988年(昭和63年)7月 死去 78歳